

教職員研究グループ活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	篠山市立岡野小学校 教諭・山田 由佳利	研究グループ名 (おかの研究グループ)
-----------------	------------------------	--------------------------

研究テーマ分類番号 (1)

(1) 研究テーマ

書くことを基盤に、「ことば」でつながる授業づくり

(2) 研究経過及び具体的な取組

月	日	曜	内 容	成果と課題等
5	14	月	研究テーマ、方向性を検討 部の年間活動計画作成	研究テーマをはっきりさせ、月ごとの授業研究者を決定した。また、授業研究部と言語研究部を設立した。授業研究部では指導案の書き方検討、言語研究部ではことばの広場の掲示学年と方法等を話し合った。
6	4	月	授業研究	4年生の国語「広告と説明書を読み比べよう」の研究授業を参観し、児童の思考を整理することのできる板書や、押さえない言葉を使って書かせるための手立てとしての机間指導を中心に活発な意見交換ができた。
7	5	木	授業研究	6年生の国語「ばらの谷」の研究授業を参観し、意見や理由を引き出し自分の言葉で書く力をつける一人学びや、主題をまとめる手立てとしての机間指導について意見交換ができた。
8	30	木	研究テーマの改定 学年別研修	研究テーマの見直しと研究発表会当日の教材の決定を行った。研究テーマは、昨年度から課題になっていた教師の発言の多さを改善することを目標とし、「授業力向上の鍵～発問を磨く～」と設定することができた。
9	10	月	研究の進め方確認	1学期の反省をもとに、2学期に取り組むべき重点課題を話し合い、指導案に教師の発問（第1発問と第2発問）を取り出して明記し、より研究テーマを意識して取り組むことができた。
10	1	月	授業研究	1年生の国語「いろいろなふね」の研究授業を参観し、大事な言葉を落とさずに線を引くことを目的とした机間指導や、教師の適切な評価言について意見交換ができた。
11	5	月	授業研究 講師：兵庫教育大学准教授	5年生国語「注文の多い料理店」の研究授業を参観した。講師を招聘し、児童の意見を引き出す発問や評価の整合性について学ぶことができた。